



1年生がボランティア体験学習をしました(1月25日)



とねやまこども園
介護老人保健施設かがやき



蛭池小学校



介護老人保健施設かがやき



蛭池こども園



十八中



刀根山小学校

1年生が地域6施設でボランティア体験をしました。

2時間ほどの短いボランティアでしたが、こども園や小学校低学年の子どもたちと遊んだり、勉強を見たり、リモートでお年寄りと交流し、歌を大声で歌ったり、一生懸命中学校の施設整備(テニスコートなど)をしたりしている姿は、実に生き生きとしていました。

こども園の子どもたちは、中学生が来るのを本当に楽しみにしていて、中学生にドッジボールで勝つための作戦をあれこれ考えていたと、園長先生からお伺いしました(蛭池こども園)。どの施設でも、直接感謝の言葉をかけられたり、笑顔で迎

えられたりした経験は中学生にとって大きな自信と学びになったと思います。人に喜んでもらうと、自分自身もうれしいですね。これをきっかけに、日々の生活の中でも、人のために動く体験をしてほしいなと思います。「来年もまた、こんな体験をしてみたい!」と楽しそうに語ってくれた1年生の姿が印象的でした。コロナ禍の中、受け入れてくださった施設のみなさまに感謝申し上げます。

ボランティアといえば・・・月1クリーン作戦も!

ボランティアといえば、生徒会主催の月1クリーン作戦もすっかり十八中の名物になっていますね。1月30日に定例のクリーン作戦がおこなわれました。今回も事前申込制だったのですが、約50名の方が参加し、校内の美化のために活動してくれました。私立高校受験まで10日ほどしかない3



年生からも参加があり、その気持ちがいっぱいでした。

気持ちがいっぱい、といえば左の写真もそうですね。3年生の教室の黒板に「グリーン作戦 ありがとう!!」と大きく書かれていました。「ボランティアには参加できないけれど、すごく感謝しているよ。」という3年生からのメッセージです。この教室では、グリーン作戦がやりやすいように、机が全部かさかさまに椅子の上に置かれていました。グリーン作戦に参加した生徒は「どういたしまして! どういたしまして!」と返事を書いていました。同じ場にはいないけれども、お互いの気持ちが通じ合った一コマだなと思いました。

今回は、おもに椅子や机にはめているテニスボールのほこり取りを行いました。参加した人にとっても、都合で参加できなかった人にとってもうれしいグリーン作戦でした。

「発見 とよなか景観スケッチブック 2022 第十八中学校区編」が完成!



あらためて校区の魅力に気づける冊子です!



麻田耕地整理記念碑の説明を聴く2年生(5月24日)

2年生が1学期に、美術の授業で取り組んだ、「とよなか景観スケッチブック」が冊子となって完成しました。

校区にある、デザイン性に優れていたり、歴史的に価値があったりする建造物や史跡を8か所巡り(5月)、それを水彩画でスケッチした作品集です。残念ながら学年全員分が載っているわけではありませんが、同じ場所のスケッチでも、作品によって描き方が異なり、それがより魅力的な校区の景観紹介になっています。冊子は市役所や市内公共施設に置いてもらえるので、多くの市民の方にも見られます。十八中校区と十八中生の素敵さが伝わればいいなと思います。